項　　目	特　　記　　事　　項
28　構内埋設線路	埋設深さ　特記なきはＧＬ－ 600 以上とする。 地中管路には、管下5cm、管上10cm程度保護砂を入れる。 地中配線には電圧、線路長に関係なく標識シート（ダブル）を管頂と地表面の中間に設ける。
29　耐　震　施　工	設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針　２０１４年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。 なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。 １）設計用水平地震力 機器の重量［N］に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。

【設計用標準水平震度】

設置場所	機器種別	・ 特定の施設		・ 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 塔屋及び屋上	機　器	2．0	1．5	1．5	1．0
	防振支持の機器	2．0	2．0	2．0	1．5
	水槽類（※1）	2．0	1．5	1．5	1．0
中間階	機　器	1．5	1．0	1．0	0．6
	防振支持の機器	1．5	1．5	1．5	1．0
	水槽類（※1）	1．5	1．0	1．0	0．6
地下及び1階	機　器	1．0	0．6	0．6	0．4
	防振支持の機器	1．0	1．0	1．0	0．6
	水槽類（※1）	1．5	1．0	1．0	0．6

ただし重要機器のアンカー計算における設計用標準水平震度は全階２．０とする。

【備考】（※1）水槽類は、オイルタンク等を含む。

注：上層階の定義は次による。

２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、１０～１２階建の場合は上層３階

１３階建以上の場合は上層４階

重要機器（　・　自立配電盤　・　防災用発電装置　・　受変電設備　）

（　・　交流無停電電源装置　・　交換機　・　自動火災報知受信機）

（　・　中央監視制御装置　・　・　）

２）設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の２分の１とし、水平地震力と同時に働くものとする。

㉚　コンクリート工事／骨材	本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。
31　ハンドホール	ハンドホールは現場打ち、ブロックのどちらでもよい。
㉜　工事・完成写真	写真の撮り方は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領（平成28年版）による　工事写真撮影ガイドブック　電気設備工事編　平成30年版」による。 下記のものを監督職員に提出する。

区分	提出形式	備考
工事写真	Ａ４版カラー印刷 画像データ(JPEG形式) ※上記両方を提出	Ａ４版カラー印刷には、写真内容説明を記入。
完成写真	Ａ４版カラー印刷 画像データ(JPEG形式) ※上記両方を提出	Ａ４版カラー印刷には、写真内容説明を記入。 外観1枚を含む内外6枚程度。 完成検査時に提出。

㉝　工事完成図	共通仕様書に従った完成図及び保守に関する指導案内書を監督職員に提出する。 Ａ４版　黒表紙金文字製本　１部　※要　・不要 Ａ３版　２ツ折り製本　１部　※要　・不要 ＣＡＤデータ　ＣＤ－Ｒ　※要　・不要

34　機器取付高

壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面の記載のない場合は原則として下表による。
ただし、監督職員の指示により変更することがある。（住宅は別途協議）

名　　称	測　　点	取付高(mm)	名　　称	測　　点	取付高(mm)
ブラケット（一般）	床上～中心	2,100	避雷接地用端子箱	地上、床上～中心	800
〃　（踊場）	〃	2,500	接地極埋設標	地上～中心	600
〃　（鏡上）	鏡上端～中心	150	室内端子盤（廊下、室内）	床上～下端	300
避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上	接地用端子箱	床上～下端	500
廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下	子時計、スピーカ	床上～中心	（天井高）x0.9
スイッチ（一般）、アッテネータ	床上～中心	1,300	呼出ボタン（身体障害者用）	〃	900
ｽｲｯﾁ、ｲﾝﾀｰﾎﾝ子機（身体障害者用）	〃	1,100	復帰ボタン（　〃　）	〃	1,800
ｺﾝｾﾝﾄ､電話用ｱｳﾄﾚｯﾄ､直列ﾕﾆｯﾄ（一般）	〃	300	廊下表示灯（　〃　）	〃	2,000
〃　（和室）	〃	150	テレビ機器収容箱	〃	1,800
〃　（台上）	台上～中心	150	火報受信機（複合盤）	床上～操作部	800～1,500
ｺﾝｾﾝﾄ（ガス漏れ検知器(LPガス)）	床上～中心	200	火報総合盤	床上～中心	800～1,500
分電盤、制御盤、親時計	〃	1,500 （上端1,900以下）	コンセント（車庫）	床上～中心	800
			ガス漏れ検知器（ＬＰガス）	床上～警報器上端	300
開閉器箱、中間端子盤（EPS、電気室） インターホン、副受信機	〃	1,500	〃　（都市ガス）	天井面～中心	（天井面）-200
			引込開閉器箱（低圧）	床上～上端	2,000

備考　（天井高）x0.9は天井高が、2,500～3,000mmの場合に適用する。

35　室内空気汚染
(揮発性有機化合物)対策

対象建築材料等	使用制限
①　合板,木質系フローリング 構造用パネル,集成材 単板積層材,ＭＤＦ パーティクルボード,ユリア樹脂板 壁紙,緩衝材,断熱材 保温材,仕上げ塗材	Ｆ☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。
②　塗料	ホルムアルデヒド,アセトアルデヒド,スチレン,トルエン,キシレン,エテルベンゲンを含有していない水性系のものとする。
③　木材保存剤 （防腐処理、防蟻処理等）	クロルピリホリス,ダイアジノン,フェノブカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。
④　内装用接着剤,木工事用接着剤 配管用接着剤,接合剤	1)ホルムアルデヒド,アセトアルデヒド,スチレン,トルエン,キシレン,エチルベンゼンを含有してないものとする。 2)フタル酸ジ-n-ブチル,フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。
⑤　家具、書架、実験台、什器 洗面化粧台、流し台	（①②③④の建築材料を使用する場合はＦ☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はＦ☆☆☆又は同等品を使用する。）

室内に関わる材料（上記①～④及び建具,シール材,その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む）については、
ホルムアルデヒド,アセトアルデヒド,スチレン,トルエン,キシレン,エチルベンゼン,フタル酸ジーｎーブチル,
フタル酸ジ-２-ヘエチルヘキシル,クロルピリホリス,ダイアジノン,フェノブカルブの有無または成分について
一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。

土　佐　町		図面名称	特記仕様書（２）	縮尺	（A2） S= ---	設計種別	設計図	図面番号	2 10
工事件名	太陽光発電設備 導入事業（ さめうら荘 ）					事務所名	土佐町		
		工事箇所	高知県 土佐郡 土佐町 田井			会社名			